

講義名称	保育方法論
開講責任部署	大学
講義区分	講義
基準単位数	2.0
科目群（区分）	専門展開
アクティブ・ラーニング実施の有無	実施有り
開講時期	3年前期
必修・選択	必修
卒業認定・学位授与の方針との関連	子ども福祉学科（3）

所属名称	ナンバリングコード
金城大学人間社会科学部子ども教育保育学科	24107031

担当教員

氏名	所属
◎ 川邊 音生	大学・人間社会科学部・子ども教育保育学科
川邊 弘之	大学・人間社会科学部・社会福祉学科

授業概要	保育の方法について、その理論と実際の方法をできるだけ具体的な実践事例を取り上げながら理解していく。また、保育を深めるための視点として子どもを理解し、保育現場での実践経験から総合的に把握する力を養う。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育の基本を踏まえた考え方や乳幼児期にふさわしい保育方法への理解を深める。 2. 保育の本質を探りながら子どもの発達や状況に応じた保育のあり方を考え、子ども主体の視点をもつ。

授業計画表

授業計画表

第1回	【授業計画】	
	ガイダンス 保育方法の基本的な考え方（川邊音生）	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	保育実習のファイルから保育者の子どもへのかかわり方について探る	60
第2回	【授業計画】	
	子ども理解と保育の方法（保育実習から見た子どもへのかかわり方：グループディスカッション）（川邊音生）	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	教科書第1章のP.5～10のエピソードを読み、保育の方法について一つの遊びからイメージし、気づきをまとめる	90
第3回	【授業計画】	
	環境を生かした保育の方法（DVD視聴による考察：グループディスカッション）（川邊音生）	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	教科書第3章、保育所保育指針解説第1章総則を精読する	60
第4回	【授業計画】	
	個と集団を生かした指導方法（『遊び』の模擬実践による考察：グループディスカッション）（川邊音生）	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回の授業内容「保育の環境」についてレポートを書く。教科書第5章を精読する	90

第5回	【授業計画】	保育の方法と形態①（実践経験からの考察と協働企画への立案：グループディスカッション）（川邊音生）	
	【事前事後学修の内容】	これまでの企画実践した経験を子どもの視点で考察し、レポートを書く	90
第6回	【授業計画】	保育の方法と形態②（DVDの場面を通しての考察：グループディスカッション）（川邊音生）	
	【事前事後学修の内容】	課題レポートでの補足点を再考する。教科書第6章のP.87～94を精読する	60
第7回	【授業計画】	遊びによる総合的な指導方法①（幼児の遊びの企画・立案：グループワーク）（川邊音生）	
	【事前事後学修の内容】	集団で行う幼児の遊びを調べ、企画案を作る	90
第8回	【授業計画】	遊びによる総合的な指導方法②（『遊び』の実践と考察：グループディスカッション）（川邊音生）	
	【事前事後学修の内容】	計画した遊びの準備をする	60
第9回	【授業計画】	3・4・5歳児の発達の時期に応じた保育方法（川邊音生）	
	【事前事後学修の内容】	子どもの主体的な遊びについて考察し、レポートを書く 教科書第7章、保育所保育指針解説第2章3を精読する	60
第10回	【授業計画】	0・1・2歳児の発達の時期に応じた保育方法（川邊音生）	
	【事前事後学修の内容】	教科書第8章、保育所保育指針解説第2章1,2を精読する	60
第11回	【授業計画】	保育の展開の方法（身近なものを使った『遊び』の展開の仕方：グループワーク）（川邊音生）	
	【事前事後学修の内容】	保育実習のファイルに目を通し、指導案の内容を調べておく	60
第12回	【授業計画】	保育の計画・実践・評価（グループディスカッション）（川邊音生）	
	【事前事後学修の内容】	保育の計画について、身近なものを使った遊びの指導案を作る	90
第13回	【授業計画】	家庭や地域、小学校との連携を踏まえた保育（川邊弘之）	
	【事前事後学修の内容】	家庭に連絡する事項等について考慮し、お知らせボードを作る 保育所保育指針解説書第2章4を精読しておく	90
第14回	【授業計画】	配慮を要する子どもへの保育方法（事例による保育カンファレンス）（川邊弘之）	
	【事前事後学修の内容】	教科書第12章のP.217～226のエピソードを読み、イメージした子どもの姿についてレポートにまとめる	90

第15回	【授業計画】	多様なニーズに伴った保育方法 まとめ（課題によるグループディスカッション）（川邊弘之）
	【事前事後学修の内容】	これまでの授業の項目に沿って復習をしておく
	【事前事後学修時間（分）】	90

履修に必要な予備知識や技能	保育所・こども園で行った実習記録のファイルから保育の方法についてまとめておく。 『保育所保育指針解説』、『幼稚園教育要領解説』の第1章、第2章を精読しておくこと。
課題に対してのフィードバック	前回の授業の要点について、授業初めに確認する。事後課題・レポートは点検後に返却し、講評する。
評価方法・基準	定期試験60% 課題20% 受講態度20%
教科書	『保育方法・指導法』大豆田啓友・渡辺英則・森上史朗 編 ミネルヴァ書房 『保育所保育指針解説』（フレーベル館）、『幼稚園教育要領解説』（フレーベル館）、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』（フレーベル館）
備考	保育実習を振り返り、経験したことから保育の方法についての学びを具体化していく。
実務経験の内容・期間	川邊 音生（保育教諭 2年）